

Ⅲ 財務の概要

1 2019年度決算の概要

(1) 貸借対照表の状況

固定資産は、山中町セミナーハウスの閉館及び減価償却等により、4億90百万円減少した。流動資産は10億44百万円増加し、資産の部は総額363億88百万円となり、前年度より5億54百万円増加した。

負債の部合計は16億19百万円で、前年度より11百万円減少した。

純資産の部合計は347億69百万円で、前年度より5億65百万円増加した。基本金は、第1号基本金が45百万円減少した。繰越収支差額は、32億24百万円の支出超過となり、超過額は前年度より6億10百万円減少した。

資産の部

(単位：千円)

科 目		本年度末	前年度末	増 減
資 産	固定資産	33,105,256	33,595,514	△ 490,258
	有形固定資産	17,338,465	17,835,078	△ 496,613
	特定資産	14,657,395	14,657,395	0
	その他の固定資産	1,109,396	1,103,041	6,355
	流動資産	3,282,292	2,238,172	1,044,120
合 計		36,387,547	35,833,686	553,862

負債の部、純資産の部

科 目		本年度末	前年度末	増 減
負 債	固定負債	974,143	971,140	3,003
	流動負債	644,629	658,498	△ 13,869
	計	1,618,772	1,629,638	△ 10,866
純 資 産	基本金	37,992,643	38,037,978	△ 45,335
	繰越収支差額	△ 3,223,868	△ 3,833,930	610,062
	計	34,768,775	34,204,048	564,727
合 計		36,387,547	35,833,686	553,862

減価償却累計額	12,020,516	11,805,792	214,724
---------	------------	------------	---------

(2) 資金収支計算書の状況

学生生徒等納付金収入は、36億21百万円となり、前年度より65百万円増加した。補助金収入は4億34百万円で、そのうち経常費補助金が4億12百万円、私立学校施設整備費補助金等の補助金が21百万円であった。資産売却収入は、67億46百万円となった。

収入合計は、112億37百万円となり、前年度繰越支払資金18億19百万円を加えた収入の部の合計は、130億56百万円となった。

人件費支出は、19億5百万円で、退職金支出の減少により、前年度より1億14百万円減少した。経費支出は、前年度に比べ教育研究経費支出は奨学金支出が1億11百万円減少、管理経費支出は修繕費、手数料支出等の増加により8百万円増加した。施設関係支出は、太陽が丘1号棟及び図書館のエレベータ改修工事等で1億円、設備関係支出は1億19百万円となった。

支出合計は100億84百万円となり、翌年度繰越支払資金は29億71百万円となった。

(収入の部)

(単位：千円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	3,618,000	3,620,634	△ 2,634
手数料収入	37,000	49,273	△ 12,273
寄付金収入	4,800	7,260	△ 2,460
補助金収入	370,000	433,505	△ 63,505
資産売却収入	6,740,000	6,745,806	△ 5,806
付随事業・収益事業収入	12,000	21,423	△ 9,423
受取利息・配当金収入	90,000	86,865	3,135
雑収入	63,700	91,952	△ 28,252
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	490,000	522,337	△ 32,337
その他の収入	195,900	294,080	△ 98,180
資金収入調整勘定	△ 616,000	△ 636,472	20,472
当年度資金収入合計	11,005,400	11,236,662	△ 231,262
前年度繰越支払資金	1,819,000	1,819,018	△ 18
収入の部合計	12,824,400	13,055,679	△ 231,279

(支出の部)

科目	予算	決算	差異
人件費支出	1,994,000	1,904,592	89,408
教育研究経費支出	1,893,800	1,779,098	114,702
管理経費支出	410,300	371,786	38,514
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	142,900	99,700	43,200
設備関係支出	175,300	118,680	56,620
資産運用支出	5,760,000	5,751,860	8,140
その他の支出	116,500	112,395	4,105
予備費	123,000	0	123,000
資金支出調整勘定	△ 28,200	△ 53,774	25,574
当年度資金支出合計	10,587,600	10,084,337	503,263
翌年度繰越支払資金	2,236,800	2,971,343	△ 734,543
支出の部合計	12,824,400	13,055,679	△ 231,279

(3) 事業活動収支計算書の状況

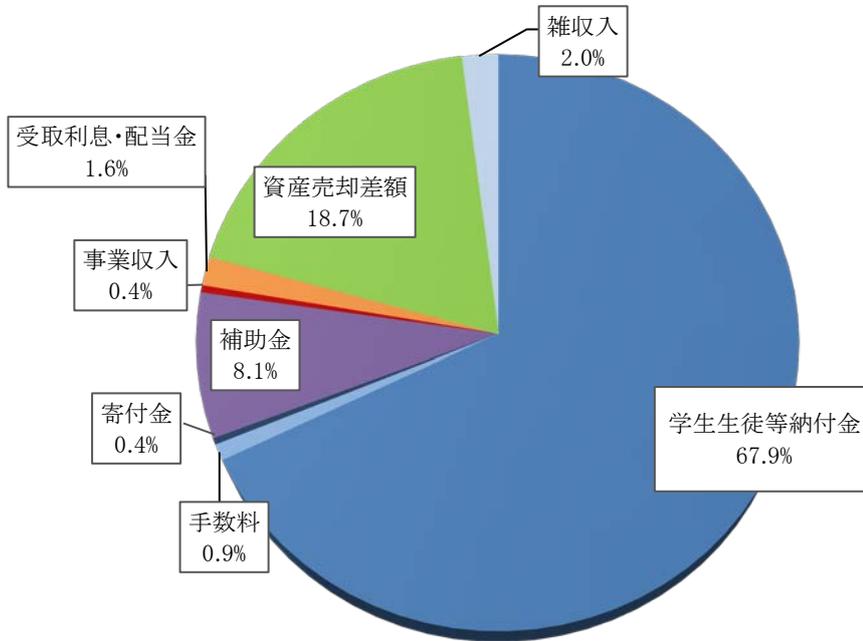
教育活動収支差額が4億79百万円の支出超過、教育活動外収支差額が1億円の収入超過となり、経常収支差額は、3億79百万円の支出超過となった。特別収支差額が9億44百万円の収入超過となり、基本金組入前当年度収支差額は、5億65百万円の収入超過となった。基本金組入額合計は、1億14百万円で、第1号基本金に組み入れている。

この結果、当年度収支差額は4億51百万円の収入超過となり、前年度繰越収支差額を加えた翌年度繰越収支差額は、32億24百万円の支出超過となった。

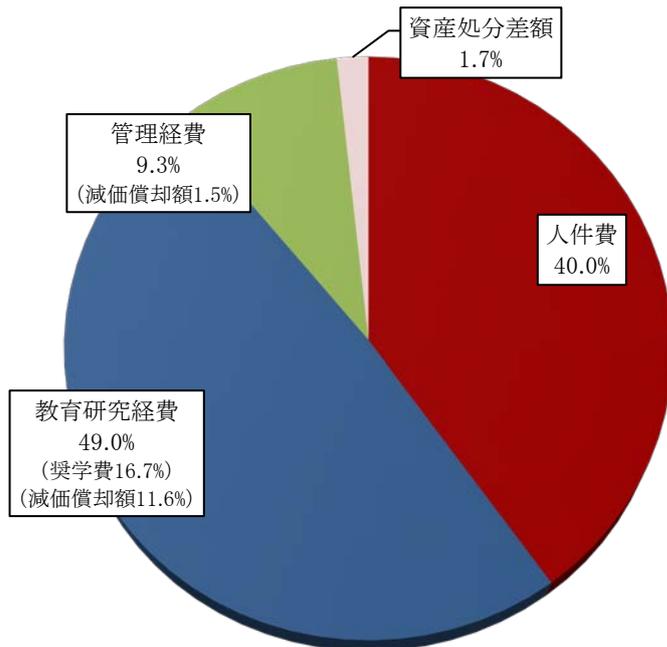
(単位：千円)

		科目	予算	決算	差異
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	3,618,000	3,620,634	△ 2,634
		手数料	37,000	49,273	△ 12,273
		寄付金	4,800	7,477	△ 2,677
		経常費等補助金	350,000	413,227	△ 63,227
		付随事業収入	0	8,598	△ 8,598
		雑収入	63,700	107,985	△ 44,285
		教育活動収入計	4,073,500	4,207,193	△ 133,693
	事業活動支出の部	人件費	1,998,000	1,908,711	89,289
		教育研究経費	2,473,800	2,334,018	139,782
		(減価償却額)	580,000	553,970	26,030
		管理経費	480,300	443,497	36,803
(減価償却額)		70,000	71,653	△ 1,653	
徴収不能額等		10,000	0	10,000	
	教育活動支出計	4,962,100	4,686,225	275,875	
	教育活動収支差額	△ 888,600	△ 479,032	△ 409,568	
教育活動外収支	収入の活動の部	受取利息・配当金	90,000	86,865	3,135
		その他の教育活動外収入	12,000	12,825	△ 825
		教育活動外収入計	102,000	99,691	2,309
	支出の活動の部	借入金等利息	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
	教育活動外支出計	0	0	0	
	教育活動外収支差額	102,000	99,691	2,309	
	経常収支差額	△ 786,600	△ 379,342	△ 407,258	
特別収支	収入の活動の部	資産売却差額	993,800	993,946	△ 146
		その他の特別収入	20,000	32,041	△ 12,041
		特別収入計	1,013,800	1,025,986	△ 12,186
	支出の活動の部	資産処分差額	84,000	81,915	2,085
		その他の特別支出	0	2	△ 2
	特別支出計	84,000	81,917	2,083	
	特別収支差額	929,800	944,069	△ 14,269	
	(予備費)	173,000		173,000	
	基本金組入前当年度収支差額	△ 29,800	564,727	△ 594,527	
	基本金組入額合計	△ 154,700	△ 114,178	△ 40,522	
	当年度収支差額	△ 184,500	450,549	△ 635,049	
	前年度繰越収支差額	△ 3,840,000	△ 3,833,930	△ 6,070	
	基本金取崩額	147,000	159,513	△ 12,513	
	翌年度繰越収支差額	△ 3,877,500	△ 3,223,868	△ 653,632	
(参考)					
	事業活動収入計	5,189,300	5,332,870	△ 143,570	
	事業活動支出計	5,219,100	4,768,142	450,958	

2019年度 事業活動収入の内訳 (事業活動収入計: 5,332,870千円)



2019年度 事業活動支出の内訳 (事業活動支出計: 4,768,142千円)



(4) その他

① 寄付金の状況(2020年3月31日現在)

寄付金の種類			金額	
奨学寄付金	教員指定	企業等	8件	3,200 千円
	国際交流活動	企業等	2件	1,280 千円
	課外活動	個人	3件	230 千円
奨学寄付金		個人	43件	852 千円
		企業等	15件	615 千円
研究助成奨励金		個人	29件	266 千円
		企業等	8件	215 千円
2018年度卒業記念事業委員会より			1件	587 千円
古本募金				15 千円
現物寄付		個人	34件	8,056 千円
	2019年度卒業記念事業委員会より			2,710 千円
	松雲友の会(保護者会)より			928 千円
		その他	46件	224 千円
合計			192件	19,178 千円

② 外部資金の獲得状況(2020年3月31日現在)

外部資金の種類			金額	
科学研究費助成事業(文部科学省)	新規	7件	8,130 千円	
	継続	6件	6,045 千円	
	分担	8件	2,444 千円	
学術研究振興資金(日本私立学校振興・共済事業団)			1件	900 千円
研究助成	企業等	2件	800 千円	
受託研究	自治体	1件	1,000 千円	
	企業等	3件	3,460 千円	
共同研究	企業等	3件	4,138 千円	
その他		6件	11,571 千円	
合計			37件	38,488 千円

③ 主な施設設備の整備状況(2019年5月1日現在)

土地

所在地	校舎敷地	体育施設・課外活動施設敷地	その他	借用地	合計
薬学キャンパス (金沢市金川町ホ3)	57,792.36 m ²	2,177.00 m ²	73,343.73 m ²	3,017.70 m ²	136,330.79 m ²
太陽が丘キャンパス (金沢市太陽が丘1-1)	17,344.05 m ²	57,962.93 m ²	196,102.44 m ²	12,824.00 m ²	284,233.42 m ²
その他 (寄宿舎敷地等)	0.00 m ²	0.00 m ²	68,340.82 m ²	897.25 m ²	69,238.07 m ²
合計	75,136.41 m ²	60,139.93 m ²	337,786.99 m ²	16,738.95 m ²	489,802.28 m ²

建物

所在地	校舎・図書館	体育施設・課外活動施設	その他	合計	備考
薬学キャンパス (金沢市金川町ホ3)	28,954.11 m ²	1,668.00 m ²	272.79 m ²	30,894.90 m ²	校舎7棟、体育館、薬草園
太陽が丘キャンパス (金沢市太陽が丘1-1)	29,867.32 m ²	7,071.14 m ²	208.56 m ²	37,147.02 m ²	校舎3棟、図書館、コミュニティハウス、松雲記念講堂、クラブハウス、屋内スポーツフィールド
その他(寄宿舎等)	0.00 m ²	0.00 m ²	7,039.91 m ²	7,039.91 m ²	松雲会館、山中町セミナーハウス
合計	58,821.43 m ²	8,739.14 m ²	7,521.26 m ²	75,081.83 m ²	

上記のうち、山中町セミナーハウスは(1,580.00m²)2020年3月31日に閉館した。

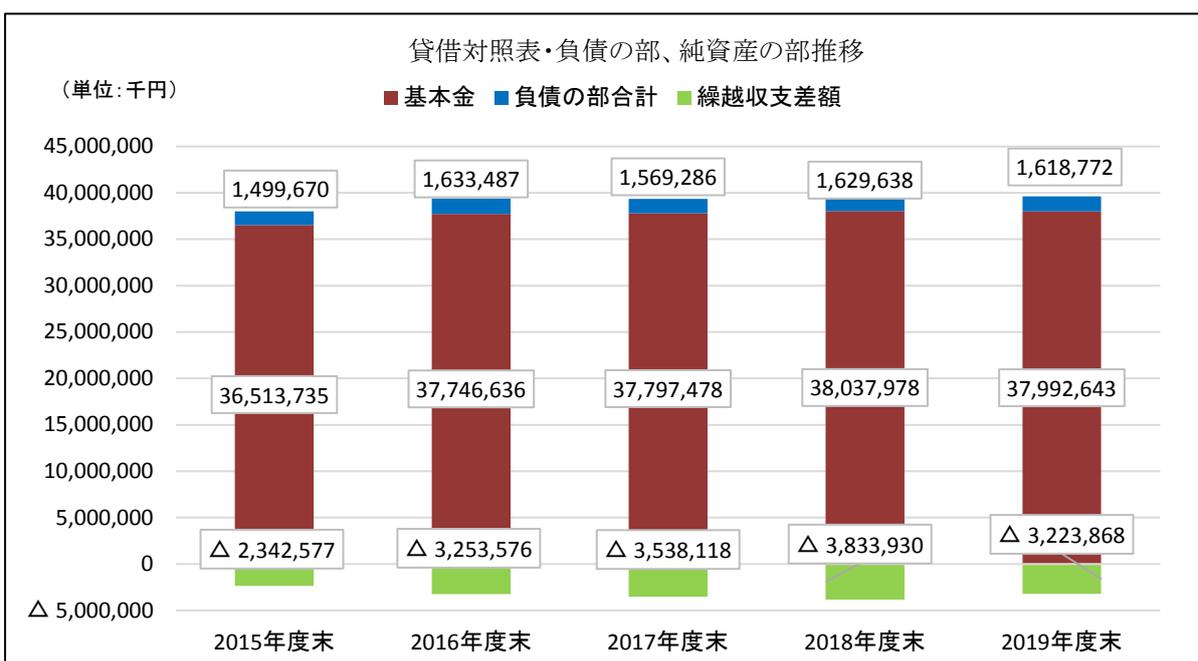
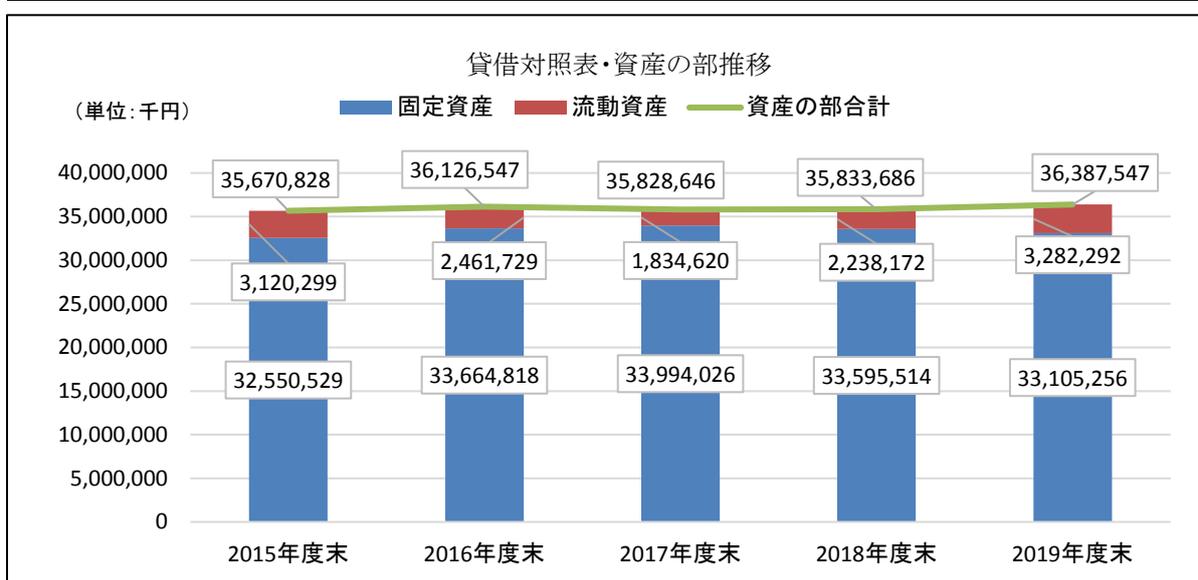
2 経年比較

大科目又は主な科目について、5年間の推移を記載する。

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

科目	2015年度末	2016年度末	2017年度末	2018年度末	2019年度末
固定資産	32,550,529	33,664,818	33,994,026	33,595,514	33,105,256
流動資産	3,120,299	2,461,729	1,834,620	2,238,172	3,282,292
資産の部合計	35,670,828	36,126,547	35,828,646	35,833,686	36,387,547
固定負債	967,353	969,287	969,163	971,140	974,143
流動負債	532,317	664,200	600,123	658,498	644,629
負債の部合計	1,499,670	1,633,487	1,569,286	1,629,638	1,618,772
基本金	36,513,735	37,746,636	37,797,478	38,037,978	37,992,643
繰越収支差額	△ 2,342,577	△ 3,253,576	△ 3,538,118	△ 3,833,930	△ 3,223,868
純資産の部合計	34,171,158	34,493,060	34,259,360	34,204,048	34,768,775
負債及び純資産の部合計	35,670,828	36,126,547	35,828,646	35,833,686	36,387,547



(2) 資金収支計算書

(単位：千円)

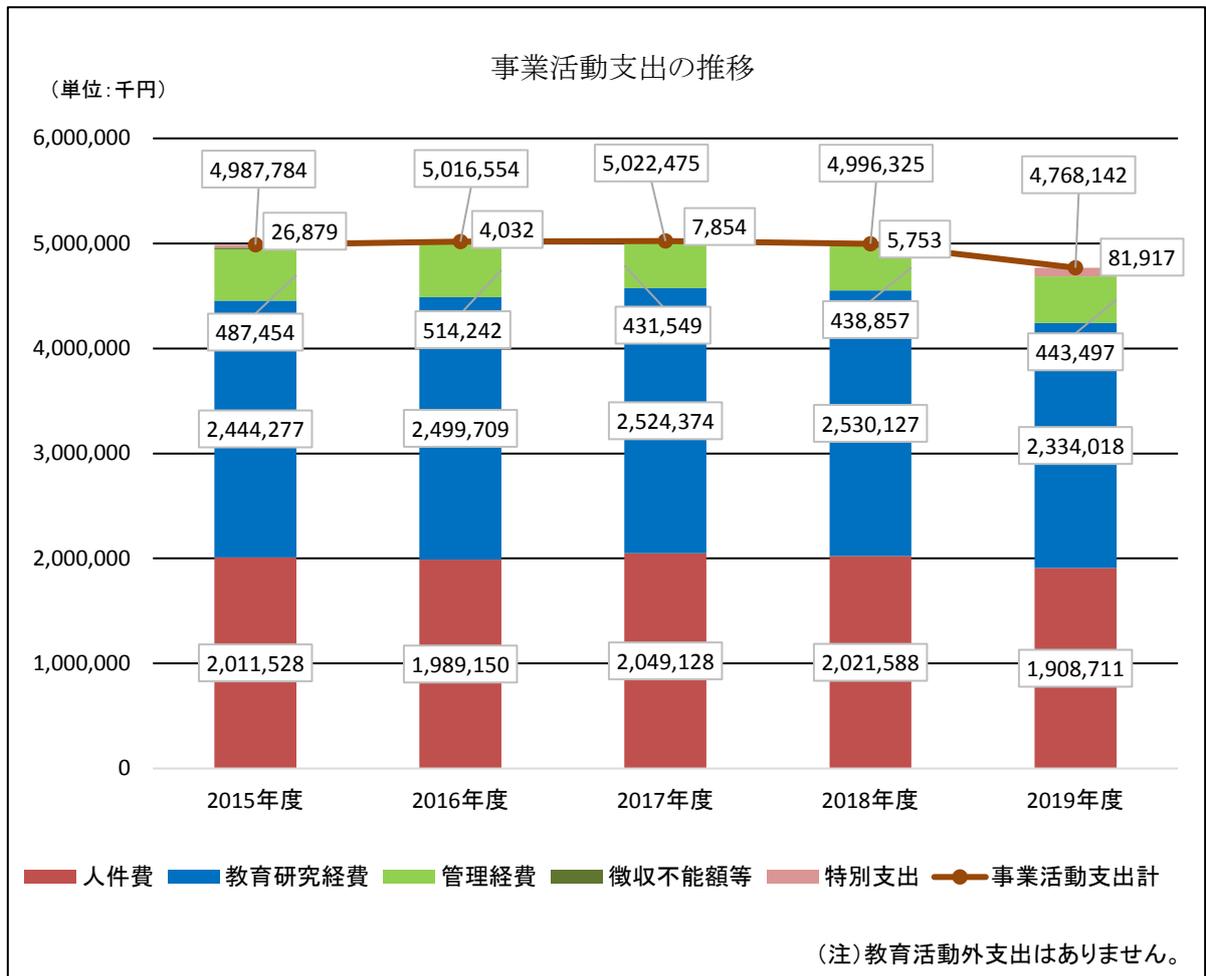
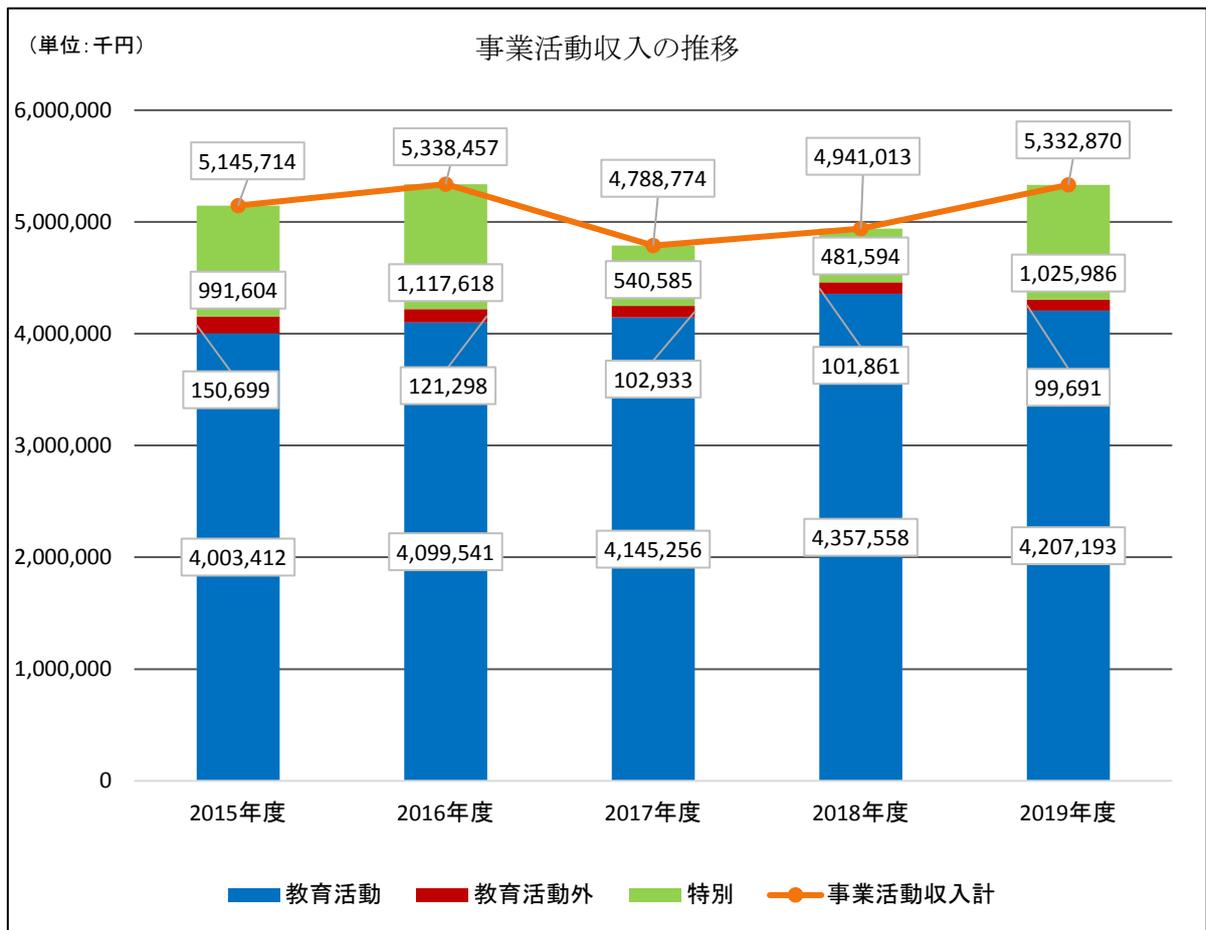
収入の部	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
学生生徒等納付金収入	3,479,135	3,464,695	3,485,929	3,555,569	3,620,634
手数料収入	24,758	39,607	38,686	44,577	49,273
寄付金収入	278,750	27,216	5,255	8,183	7,260
補助金収入	468,949	414,560	390,984	523,794	433,505
資産売却収入	3,270,990	4,095,685	1,543,193	1,790,684	6,745,806
付随事業・収益事業収入	15,279	12,980	13,059	14,985	21,423
受取利息・配当金収入	139,225	110,083	91,201	90,610	86,865
雑収入	154,278	194,262	240,482	225,592	91,952
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	462,078	584,462	517,093	548,100	522,337
その他の収入	467,340	385,347	266,142	328,833	294,080
資金収入調整勘定	△ 812,184	△ 665,800	△ 802,199	△ 714,444	△ 636,472
前年度繰越支払資金	4,332,654	2,593,220	2,013,672	1,379,204	1,819,018
収入の部合計	12,281,252	11,256,317	7,803,497	7,795,686	13,055,679

支出の部	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
人件費支出	2,021,266	1,987,216	2,052,878	2,018,495	1,904,592
教育研究経費支出	1,925,507	1,950,351	1,917,059	1,948,004	1,779,098
管理経費支出	407,473	411,040	350,614	364,108	371,786
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	2,054,951	976,149	93,508	255,781	99,700
設備関係支出	303,002	499,995	153,054	205,489	118,680
資産運用支出	2,935,320	3,366,939	1,806,709	1,143,471	5,751,860
その他の支出	102,253	104,333	104,741	96,549	112,395
資金支出調整勘定	△ 61,741	△ 53,378	△ 54,270	△ 55,228	△ 53,774
翌年度繰越支払資金	2,593,221	2,013,672	1,379,204	1,819,018	2,971,343
支出の部合計	12,281,252	11,256,317	7,803,497	7,795,686	13,055,679

(3) 事業活動収支計算書

(単位：千円)

		科目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	3,479,135	3,464,695	3,485,929	3,555,569	3,620,634
		手数料	24,758	39,607	38,686	44,577	49,273
		寄付金	5,980	13,367	5,055	8,067	7,477
		経常費等補助金	335,998	385,845	373,776	499,897	413,227
		付随事業収入	3,804	1,765	1,328	3,734	8,598
		雑収入	153,737	194,262	240,482	245,716	107,985
		教育活動収入計	4,003,412	4,099,541	4,145,256	4,357,558	4,207,193
	支事業活動の部	人件費	2,011,528	1,989,150	2,049,128	2,021,588	1,908,711
		教育研究経費	2,444,277	2,499,709	2,524,374	2,530,127	2,334,018
		管理経費	487,454	514,242	431,549	438,857	443,497
徴収不能額等		17,647	9,421	9,570	0	0	
教育活動支出計		4,960,905	5,012,522	5,014,621	4,990,572	4,686,225	
		教育活動収支差額	△ 957,494	△ 912,981	△ 869,365	△ 633,014	△ 479,032
教育活動外収支	取事業活動の部	受取利息・配当金	139,225	110,083	91,201	90,610	86,865
		その他の教育活動外収入	11,474	11,215	11,732	11,251	12,825
		教育活動外収入計	150,699	121,298	102,933	101,861	99,691
	支事業活動の部	借入金等利息	0	0	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0	0	0
		教育活動外収支差額	150,699	121,298	102,933	101,861	99,691
		経常収支差額	△ 806,795	△ 791,683	△ 766,432	△ 531,153	△ 379,342
特別収支	取事業活動の部	資産売却差額	565,561	1,044,454	516,215	445,783	993,946
		その他の特別収入	426,043	73,164	24,370	35,811	32,041
		特別収入計	991,604	1,117,618	540,585	481,594	1,025,986
	支事業活動の部	資産処分差額	26,879	4,032	7,854	5,753	81,915
		その他の特別支出	0	0	0	0	2
		特別支出計	26,879	4,032	7,854	5,753	81,917
		特別収支差額	964,725	1,113,586	532,731	475,841	944,069
		基本金組入前当年度収支差額	157,930	321,903	△ 233,701	△ 55,312	564,727
		基本金組入額合計	△ 1,456,989	△ 1,285,901	△ 50,842	△ 240,500	△ 114,178
		当年度収支差額	△ 1,299,059	△ 963,998	△ 284,543	△ 295,812	450,549
		前年度繰越収支差額	△ 1,043,518	△ 2,342,577	△ 3,253,575	△ 3,538,118	△ 3,833,930
		基本金取崩額	0	53,000	0	0	159,513
		翌年度繰越収支差額	△ 2,342,577	△ 3,253,575	△ 3,538,118	△ 3,833,930	△ 3,223,868
(参考)							
		事業活動収入計	5,145,714	5,338,457	4,788,774	4,941,013	5,332,870
		事業活動支出計	4,987,784	5,016,554	5,022,475	4,996,325	4,768,142



3 主な財務比率推移（経営状況の分析）

(1) 貸借対照表関係比率

比率名	算出方法	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2018年度 大学法人平均 (医歯系除く 507法人)
固定資産 構成比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{総資産}}$	91.3%	93.2%	94.9%	93.8%	91.0%	86.8%
有形固定資産 構成比率	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{総資産}}$	49.4%	51.1%	50.3%	49.8%	47.6%	59.9%
特定資産 構成比率	$\frac{\text{特定資産}}{\text{総資産}}$	37.5%	39.0%	41.5%	40.9%	40.3%	22.2%
流動資産 構成比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$	8.7%	6.8%	5.1%	6.2%	9.0%	13.2%
純資産 構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債+純資産}}$	95.8%	95.5%	95.6%	95.5%	95.6%	87.8%
総負債 比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}}$	4.4%	4.7%	4.4%	4.5%	4.4%	12.2%
減価償却 比率	$\frac{\text{減価償却累計額(図書を除く)}}{\text{減価償却資産取得価額(図書を除く)}}$	39.3%	38.9%	40.0%	39.8%	55.5%	51.5%
積立率	$\frac{\text{運用資産}}{\text{要積立額}}$	84.2%	80.5%	80.1%	79.6%	84.3%	79.3%

(注) 「運用資産」=現金預金+特定資産+有価証券

「要積立額」=減価償却累計額+退職給与引当金+2号基本金+3号基本金

大学法人平均は、「今日の私学財政」(日本私立学校振興・共済事業団)による(事業活動収支計算書比率についても同様)

比率名	比率の意味	評価指標※
固定資産 構成比率	固定資産の総資産に占める構成割合で、流動資産構成比率とともに資産構成のバランスを全体的に見るための指標である。学校法人が行う教育研究事業には多額の設備投資が必要となるため、一般的にはこの比率が高くなるのが学校法人の財務的な特徴である。	▼
有形固定資産 構成比率	有形固定資産の総資産に占める構成割合で、土地・建物等の有形固定資産の構成比が資産構成上バランスが取れているかを評価する指標である。	▼
特定資産 構成比率	特定資産の総資産に占める構成割合で、各種引当特定資産などの長期にわたって特定の目的のために保有する金融資産の蓄積状況を評価する指標である。一般的には、この比率が高い場合は中長期的な財政支出に対する備えが充実しており、計画的な学校法人経営に資するといえる。	△
流動資産 構成比率	流動資産の総資産に占める構成割合で、固定資産構成比率とともに資産構成のバランスを全体的に見るための指標となる。一般的にこの比率が高い場合、現金化が可能な資産の割合が大きく、資金流動性に富んでいると評価できる。逆に著しく低い場合は、資金流動性にかげ、資金繰りが苦しい状況にあると評価できる。	△
純資産 構成比率	純資産の「総負債及び純資産の合計額」に占める構成割合で、学校法人の資金の調達源泉を分析する上で最も概括的で重要な指標である。この比率が高いほど財政的には安定しており、逆に50%を下回る場合は他人資金が自己資金を上回っていることを示している。	△
総負債比率	固定負債と流動負債を合計した負債総額の総資産に対する割合で、総資産に対する他人資金の比重を評価する極めて重要な比率である。この比率は一般的に低いほど望ましく、50%を超えると負債総額が純資産を上回ることを示し、100%を超えるといわゆる債務超過であることを示す。	▼
減価償却比率	減価償却資産の取得価額に対する減価償却累計額の割合である。資産の取得年次が古いほど、又は耐用年数を短期間に設定しているほどこの比率は高くなる。	～
積立率	学校法人の経営を持続的かつ安定的に継続するために必要となる運用資産の保有状況を表す。一般的には比率は高い方が望ましい。	△

※評価指標 評価は、それぞれの大学法人の特徴があり、一概にはいえないが、一般的には、△は高い方が良い、▼は低い方が良い、～はいずれともいえないと考えられる。(事業活動収支計算書関係比率についても同様)

(2) 事業活動収支計算書関係比率

比率名	算出方法	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2018年度 大学法人平均 (医歯系除く 507法人)
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	48.4%	47.1%	48.2%	45.3%	44.3%	53.0%
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	58.8%	59.2%	59.4%	56.7%	54.2%	33.4%
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	11.7%	12.2%	10.2%	9.8%	10.3%	8.8%
事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	3.1%	6.0%	-4.9%	-1.1%	10.6%	4.6%
基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入}-\text{基本金組入額}}$	135.2%	123.8%	106.0%	106.3%	91.4%	107.0%
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	83.8%	82.1%	82.1%	79.7%	84.1%	74.8%
寄付金比率	$\frac{\text{寄付金}}{\text{事業活動収入}}$	5.8%	1.1%	0.3%	0.4%	0.4%	2.1%
補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}}$	9.1%	7.8%	8.2%	10.6%	8.1%	12.6%
減価償却額比率	$\frac{\text{減価償却額}}{\text{経常支出}}$	12.1%	13.3%	13.6%	13.1%	13.4%	11.8%
経常収支差額比率	$\frac{\text{経常収支差額}}{\text{経常収入}}$	-19.4%	-18.8%	-18.0%	-11.9%	-8.8%	4.5%
教育活動収支差額比率	$\frac{\text{教育活動収支差額}}{\text{教育活動収入計}}$	-23.9%	-22.3%	-21.0%	-14.5%	-11.4%	3.0%

(注) 「経常収入」=教育活動収入計+教育活動外収入計

「寄付金」=教育活動収支の寄付金+特別収支の施設設備寄付金及び現物寄付

「補助金」=経常費等補助金+施設設備補助金

本学は、2013年度～2016年度の入学生を対象に、一律に授業料減免を実施した。また、特待生奨学金などその他の授業料減免の学生支援を積極的に行っている。決算上は授業料収入と奨学費支出にそれぞれ授業料減免分の金額を計上しているため、人件費比率は低く、教育研究経費比率は高くなっている。

比率名	比率の意味	評価指標
人件費比率	人件費の経常収入に占める割合を示す。人件費は学校における最大の支出要素であり、この比率が適正水準を超えると経常収支の悪化につながる要因ともなる。	▼
教育研究経費比率	教育研究経費の経常収入に占める割合を示す。修繕費、光熱水費等の各種支出に加えて、教育研究用固定資産にかかる減価償却額が含まれている。これらの経費は、教育研究活動の維持・充実のために不可欠なものであり、この比率は収支均衡を失しない範囲内で高くなることが望ましい。	△
管理経費比率	管理経費の経常収入に占める割合を示す。管理経費は、教育研究活動以外の目的で支出される経費であり、学校法人の運営のためある程度の支出はやむを得ないものの、比率としては低い方が望ましい。	▼
事業活動収支差額比率	事業活動収入に対する基本金組入前の当期収支差額が占める割合であり、この比率がプラスで大きいほど自己資金が充実し、財政面で将来的な余裕に繋がるものである。	△
基本金組入後収支比率	事業活動収入から基本金組入額を控除した額に対する事業活動支出が占める割合を示す比率である。一般的には、収支が均衡する100%前後が望ましいと考えられるが、臨時的な固定資産の取得等による基本金組入が著しく大きい年度において、一時的に急上昇する場合もある。本学は、2015年度、2016年度が、これに該当する。	▼
学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金の経常収入に占める割合である。学校法人の事業活動収入のなかで最大の割合を占めており、学生数の増減に影響を受けるが、補助金や寄付金と比べて外部要因に影響されることの少ない重要な自己財源であることから、この比率が安定的に推移することが望ましい。	△
寄付金比率	寄付金の事業活動収入に占める割合である。寄付金は私立学校にとって重要な収入源であり、一定水準の寄付金収入を継続して確保することが経営の安定のためには好ましいことである。	△
補助金比率	国又は地方公共団体の補助金の事業活動収入に占める割合である。学校法人において補助金は一般的に学生生徒等納付金に次ぐ第二の収入源泉であり、不可欠なものである。	△
減価償却額比率	減価償却額の経常支出に占める割合で、当年度の経常支出のうち減価償却額がどの程度の水準にあるかを測る比率である。一方で、経費に計上されているが実際の資金支出は伴わないものであるため、別の視点では実質的に費消されずに蓄積される資金の割合を示したものと捉えることも可能である。	～
経常収支差額比率	経常的な収支バランスを表す比率である。	△
教育活動収支差額比率	本業である教育活動の収支バランスを表す比率である。	△

4 経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

2019年度は、「北陸大学 Vision50 (by2025)」の第1期中期計画における3年目にあたり、中期計画推進委員会において2018年度事業計画の進捗状況を検証した。その上で7つの重点項目である「教育改革」「学生支援」「研究活動活性化」「国際化推進」「地域・産学官連携推進・ネットワーク強化」「入学者確保」「経営基盤強化」の改革を、第1期中期計画の最終年度である2020年度に向けて加速させるため、重点的かつ効率的に予算を配分した。

私立大学の経営にとって生命線である「入学者確保」においては、経済経営学部、国際コミュニケーション学部、医療保健学部の3学部は、入学定員を満たすとともに収容定員も充足した。これによって、大学全体の収容定員充足率を押し上げて、改善の傾向にある。しかしながら、薬学部は前年度並みの入学者数を確保できず、一層の改善の余地を残す結果となった。今後は引き続き、退学、留年等の防止を含めた薬学教育の充実を一段と推し進め、大学全体では、2021年度からの新学科設置及び4学部の入学定員の見直し等、さらなる改組を実行する。

「教育改革」「学生支援」では、重要目標達成指標（KGI）である退学率、就職率の改善で成果を上げた。しかし、薬剤師国家試験等の各種試験の合格率、公務員・教員採用試験合格者数などは目標値に届かず、これらについては、目標実現の必須の項目に位置付け、特に注力する。

2019年度決算においては、前年度比、予算比では改善したが、経常収支差額は依然として支出超過の状況にある。このため、入学者確保、研究費等の外部資金及び寄付金の受入れの取組強化、奨学金支出の削減等、引き続き経営ガバナンスの充実を図る。さらに、中長期財務計画に沿って教育研究の環境を整備し、着実に財務基盤の健全化を推進する。

第1期中期計画の最終年度となる2020年度は、アクションプランを着実に実行し、スピード感をもって大学改革を前進させる。同時に第2期中期計画の策定年度でもあることから、大学と法人が一体となり、「チーム北陸大学」として教育改革、大学の安定的な運営、将来構想の策定に全力で取り組むものとする。